

平成27年度 事業計画

公益財団法人 大阪国際交流センター

公益財団法人大阪国際交流センターは、昭和62年（1987）年の開設以来、大阪市における地域国際化協会として大阪国際交流センター施設を拠点とし、大阪を中心とした関西一円において、市民レベルの相互理解の増進と友好親善の促進を図るさまざまな事業を実施してまいりました。この間、27年を経て、経済をはじめ、学術、文化の各分野でヒト、モノ、情報が国境を超えて大規模に交流・定着するグローバル社会へと変貌を遂げる中、平成24年4月より、公益財団法人大阪国際交流センターとして、新たな第一歩を踏み出したところであります。

しかしながら、当財団の設立母体である大阪市においては、大阪の再生に向けての新たな大都市制度の実現と活力ある大阪をめざす取り組みや、厳しい財政状況を受けた行財政改革を強力に進める中、外郭団体について抜本的な見直しが図られてまいりました。平成26年度以降、当財団の財政的基盤であった大阪国際交流センター施設運営が民営化される中で、公益の国際交流事業を推進するとともに、経営の自立化が喫緊の課題となっています。このような状況を踏まえて、当財団の運営にかかる基本的な考え方や事業の方向性、経営の自立化に向けた経営改善の取組などを明らした平成26年度を初年度とする5カ年の経営計画を、平成26年12月に策定しました。

当財団は、自立的・継続的運営確保に向けて、組織体制の見直しを図るとともに、これまでの蓄積や関係先との連携等の強みを活かした収益性のある新規公益目的事業に取り組むとともに、地域国際化協会としてどのように社会的責務を果たしていくべきかについて留意しつつ、経営計画の実現に向けて取り組んでまいります。

具体的な事業実施にあたり、これまで取り組んできた「国際交流・協力事業」、「多文化共生事業」、「国際化の担い手育成と連携強化事業」、「情報発信事業」に加え、新たな状況に対応すべく「観光推進等大阪の活性化に資する事業」「公益目的特定事業」「新規受託事業」に取り組むなど、多岐にわたる事業の拡充に努めることにより、当財団の自立的・継続的運営を図ってまいります。